

2-7

子供のほめ方・叱り方

子供が成長していく過程の中「ほめられること」「叱られること」で、その行為が「よいこと」なのか「いけないこと」なのかを学んでいきます。しかし、その効果や方法を考える間もなく感情にまかせて怒ってしまった・・・ということはありませんか。

今回は、「ほめることと叱ることの意味」とその「効果的な方法」を考えてみましょう。



次のエピソードを読んで考えてみましょう。

エピソード

4歳のとおるくんのパパたくやさんは、3歳のかけるくんのパパかずきさんと近くの子育て支援センターに遊びにきました。元気に庭で遊んでいた子供たちでしたが、三輪車の取り合いが始まりました。

「あっ、ぼくが使っているからだめ！だめだってば取らないで！」

と、とおるくんは叫びながらかけるくんをたたいています。

「とおる！なにをやっているんだ。やめなさい！」

急いでかけよるたくやさん。かけるくんは大きな声で泣き出しました。

「とおる！またなのか！謝りなさい。ごねんよ、かけるくん。三輪車使っているよ。とおるは大きいのだから、たたいたらいけないよ。謝りなさい！ごめんね、かずきさん。」

ついに、とおるくんまで手足をばたばたさせて、大きな声で泣き出してしまいました。かずきさんは、

「たくやさん、気にしないでいいですよ。かける、大丈夫だよな。えらい、もう泣いていないね。強いね。いい子だね。」

とかけるくんの顔を優しくのぞきこみました。

① それぞれの気持ちを考えてみましょう。

とおるくん	
たくやさん	
かけるくん	
かずきさん	



② たくやさんはどのように対応したらよいでしょう。グループで話し合ってみましょう。

- ③ かずきさんの対応はどうですか、話し合ってみましょう。

資料 1

ほめること・叱ることは、家庭教育の重要な柱の一つです

ほめること、叱ることは、子供の行為を通して、よいことなのか、いけないことなのかを気付かせながら、よい行為は助長されるように、いけない行為はくり返されないようにするアドバイスです。

- ・ 叱る対象は子供の“行為”……子供の性格などまで責めない
- ・ 叱る時はその時……時間がたってからでは、何がいけないのかわかりにくくする。
- ・ 叱るのは“叱られるわけがあるから”……わかりやすく説明し、理由が納得できるようにする。
- ・ いつでもどこでも、いけないことは“いけない”……親の気分や叱る人（祖父母等）によって理由が違ったり叱られなかったりでは子供が迷う。
- ・ 叱る子供は“わが子”……他の子供や兄弟姉妹との比較は、子供の自尊心を傷つけ劣等感を植えつけるもとになる。

家庭教育振興協議会「ハンドブック」
(家庭教育振興協議会 事業部 2012.2.19発行)

ワーク 2

自分の体調が悪い、時間がなくて気持ちが落ち着かないなどの状況で、子供を叱らなくてはいけない場面になったとき、気持ちがエスカレートしていき、子供を追い詰めるような叱り方になってしまった、気がついたら手を上げていた……、ということはありませんか。また、同じような状況で、ほめる・励ますという場面になったとき、それができなかった……ということはありませんか？

- ① こんなとき、自分の感情をコントロールするにはどうしたらよいか、グループで話し合ってみましょう。

- ② ほめる・励ますときのタイミングと適切な言葉について話し合ってみましょう。



ふりかえり

① グループの話し合いの中で、参考になった意見はありましたか。

② みんなの話を聞いて感じたこと、気づいたことは何ですか。

あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることはありませんか。

図2-4-1 子育ての肯定的感情(父母別)

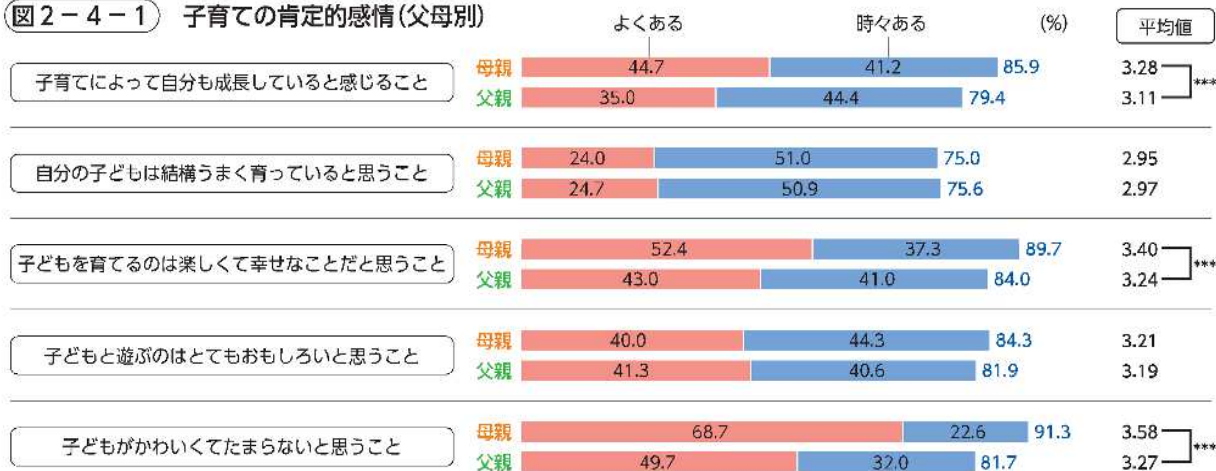


図2-4-2 子育ての否定的感情(父母別)

